

先生のカガイ授業
赤ちゃんのつくり方

おっと

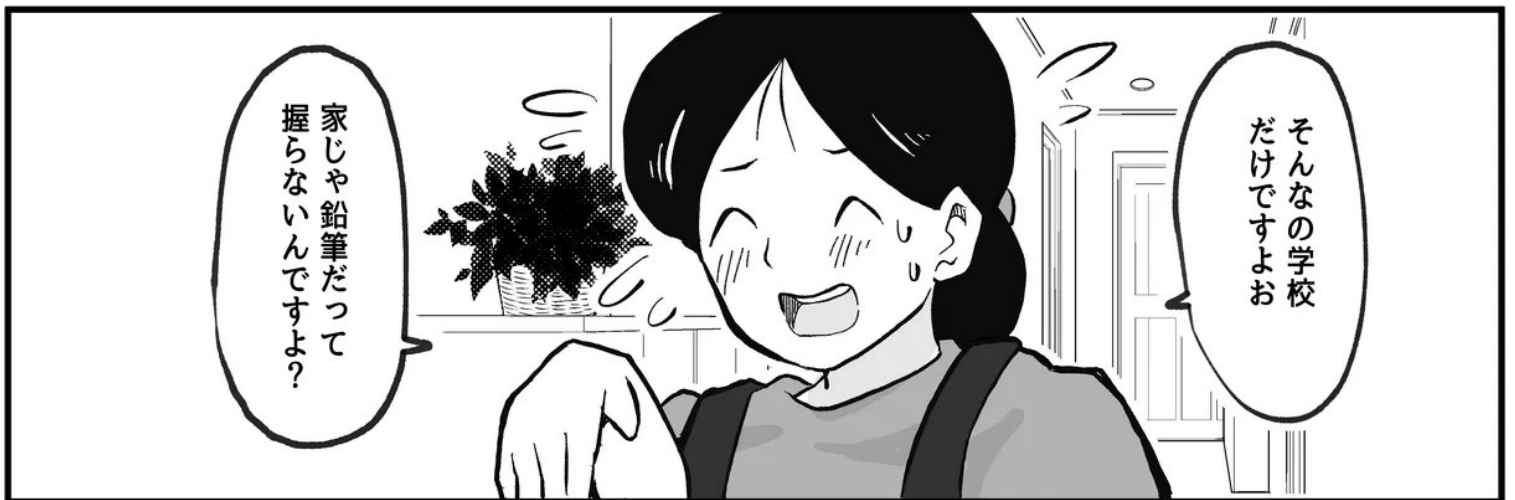
⚠注意⚠

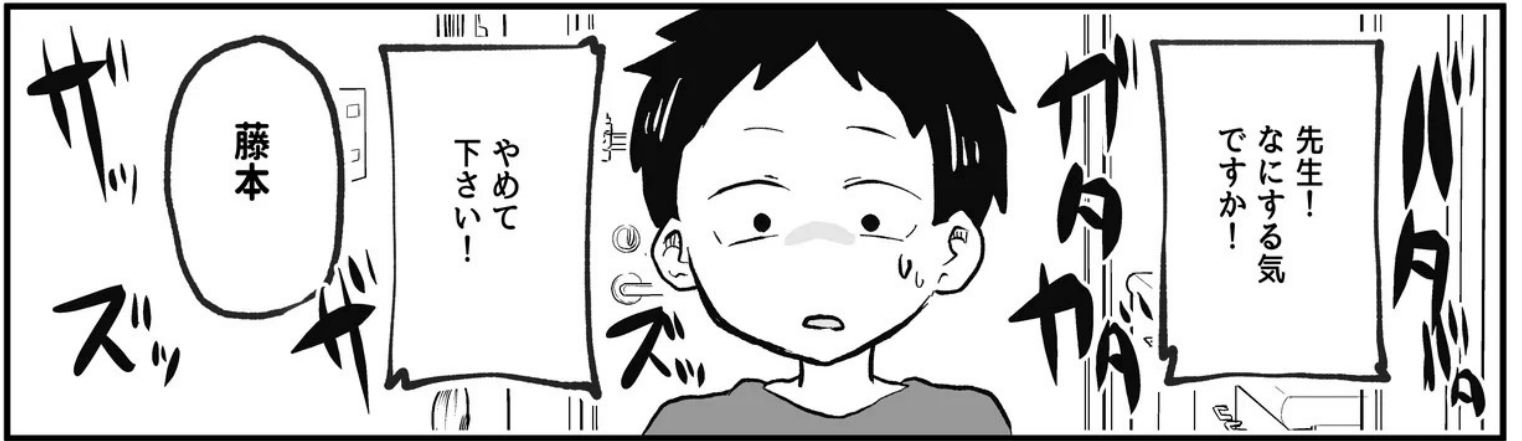
**この作品はフィクションです
本作品に登場する医学的
科学的な説明はフィクションの
演出であり、実際の医学的根拠に
基づくものではありません。
また、本作品はあくまで創作であり
実際の性被害を肯定・助言する意図
はありません。現実の被害者を傷つける
意図は一切なく、加害行為の模倣や
再現を推奨するものではありません。**





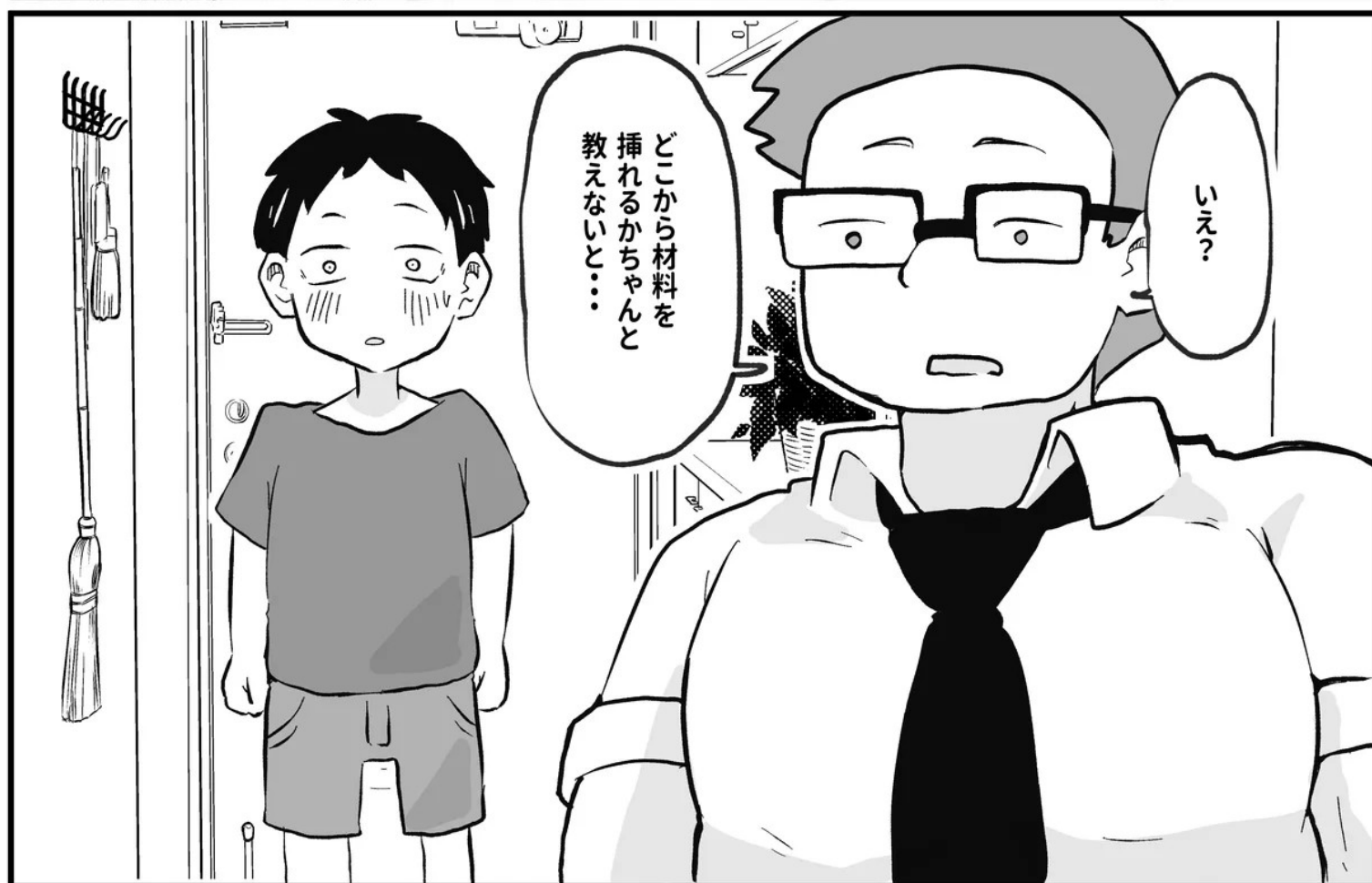
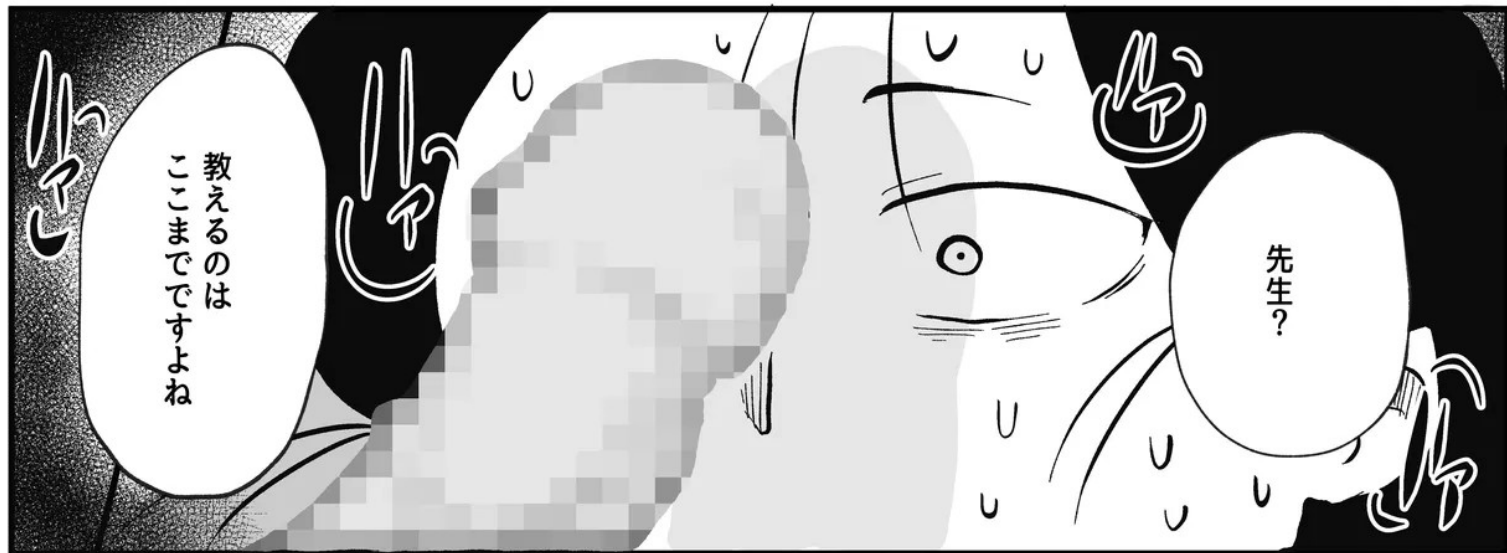


















この脱力は反射じゃなくて
脳が指示して起こる反応だから
女性は自分の意思で抵抗を
ためらってしまったように
勘違いしてくれるぞ



オキシトシンは
愛着ホルモンだ

自分のおっぱいを
触っている相手を
受け入れようとする

もみ

しかも肩の力を
脱力させてくれる
おまけつきだ

もみ

やっ



これも本人の意思に
反しているのに
自分で行動を
選択したと勘違い
してくれるぞ

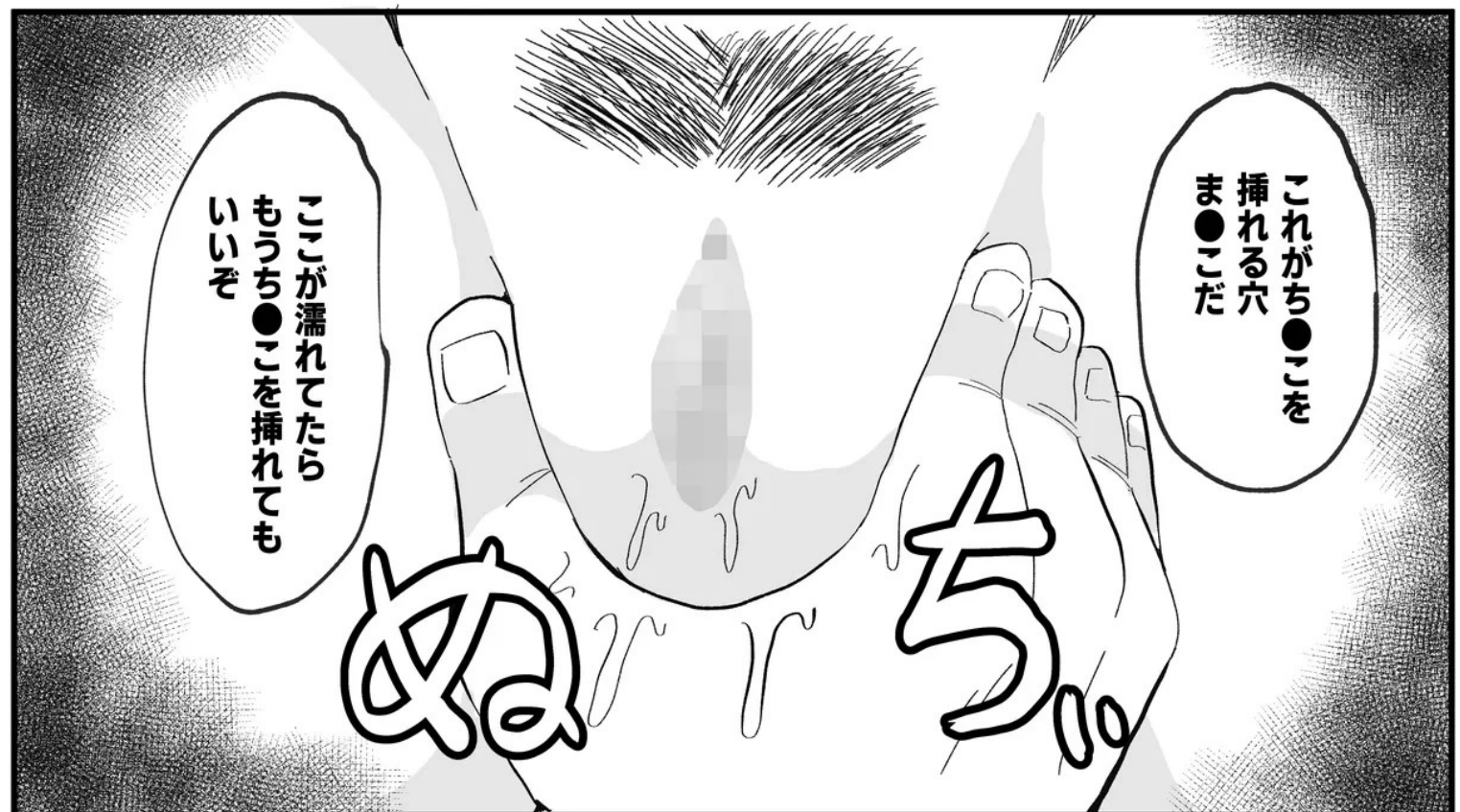
見ないでえ
トモヤア...

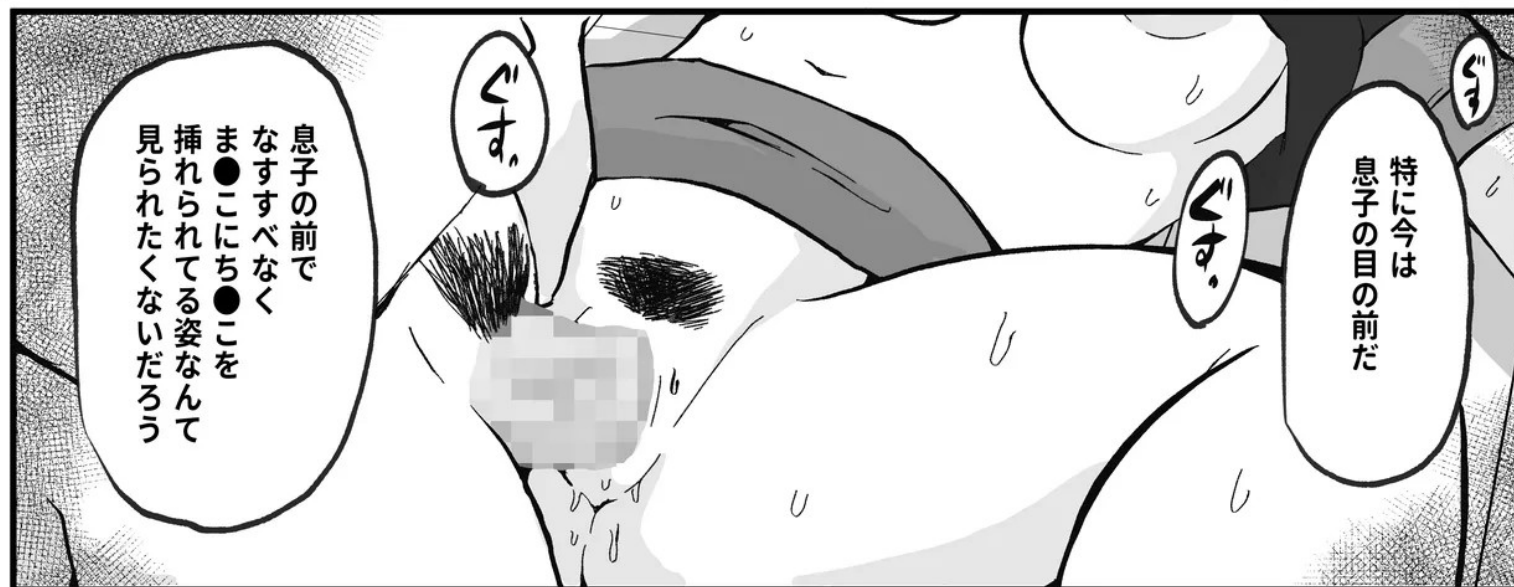


さらにストレスホルモンの
大量分泌で
声も出せなくなり

身体も動かせ
なくなる











お母さんが
嫌がってるから！

それ以上の理由
なんていない！

ぐず...
と...
ともやあ...

うん

思いやりに溢れた
素晴らしい回答だね

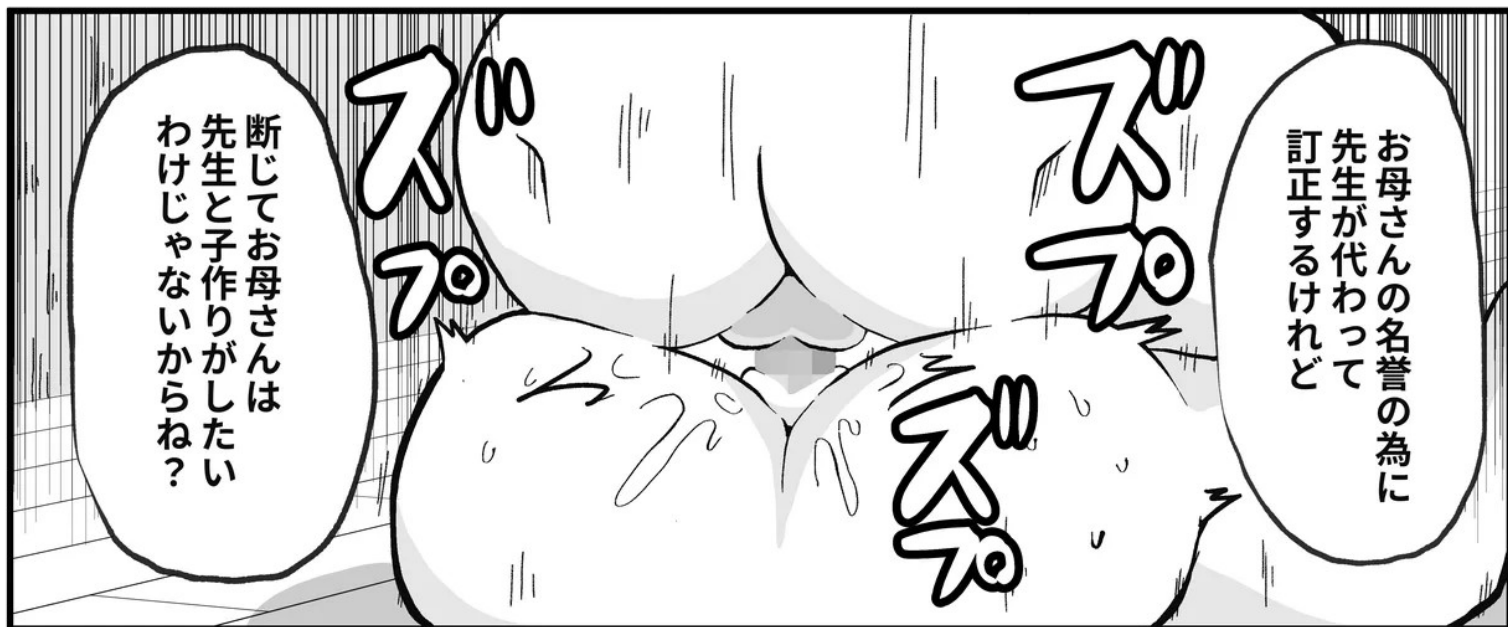
このような
同意のない子作りを
『レ●プ』と呼ぶのだけど

藤本はレ●プは
良くない事だと
思うんだね？





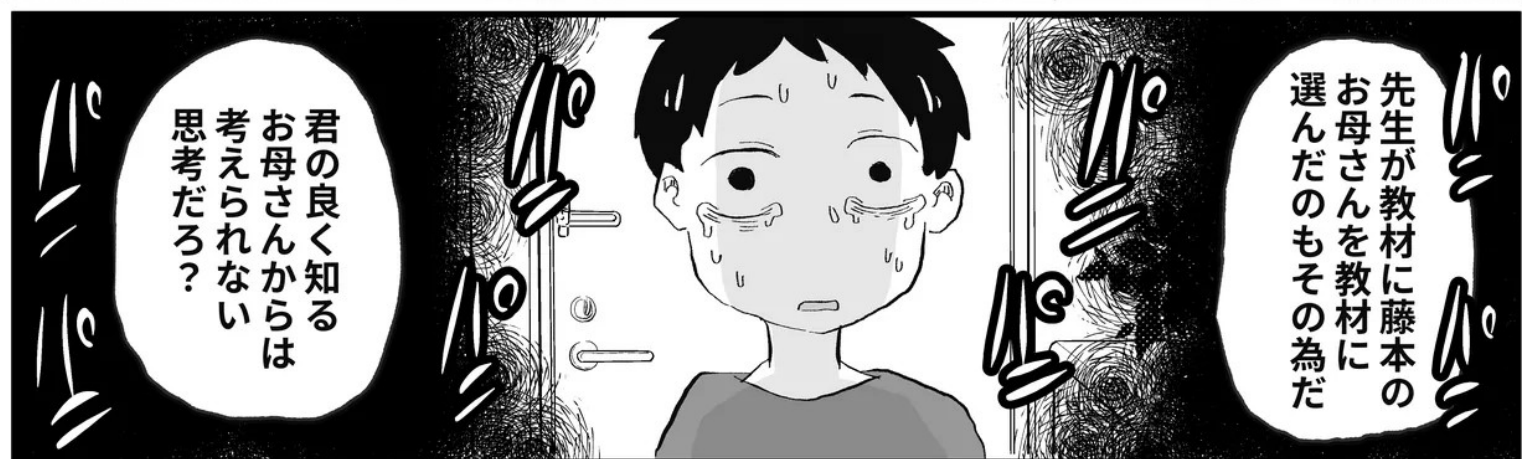






しかも
脳内ホルモンが勝手に
そうさせているのに

自分の意思でその行動を
選んだと錯覚してくれる



先生が教材に藤本のお母さんを教材に選んだのもその為だ

君の良く知るお母さんからは考えられない思考だろ？



おっぱいを揉んだだけであそこからここまで選択を制限できるんだ

子作りを女性が拒否するのは不可能だから安心して子作りするといい



そして子作りが終わり脳内ホルモンの分泌が止まると元の正常な思考に戻るんだ

本当は嫌だったってね



おそらく今日の夕方には
ホルモン切れで
いつものお母さんに
戻っているよ

多分お風呂の時かな？



なんでもっと拒否
しなかったんだろう

なんで暴れてでも
止めなかったんだろう

なんでもっと大声を
出さなかったんだろう

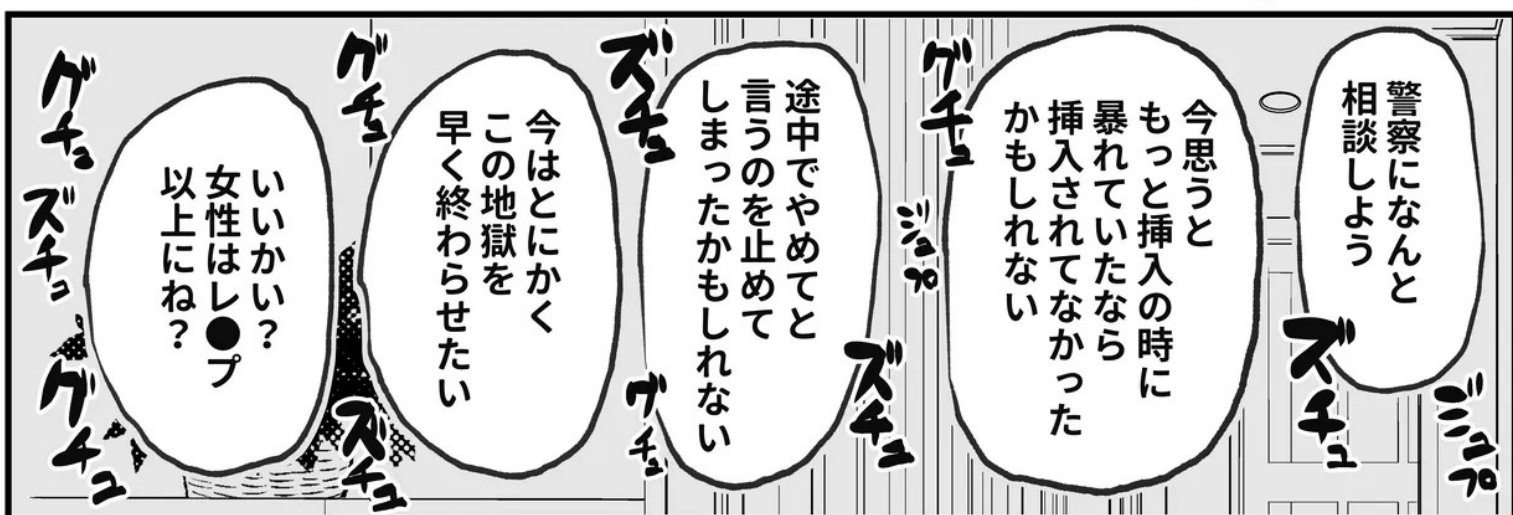


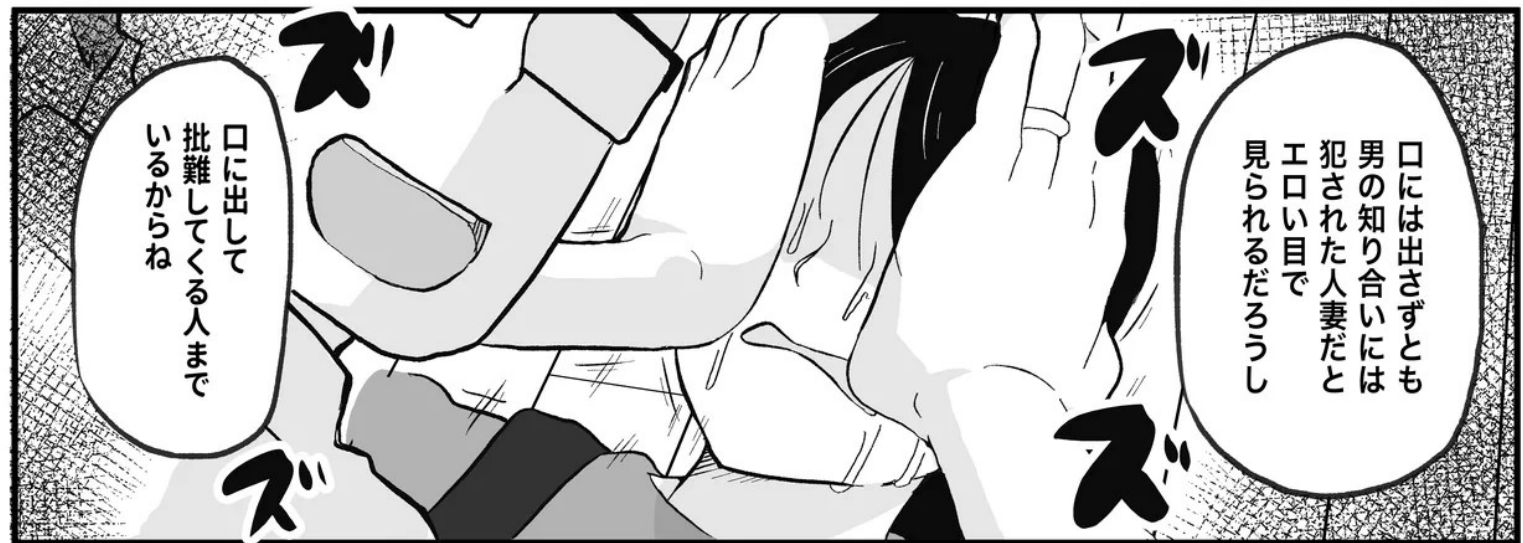
自分を責めて
後悔するだろうね

自分で選択したと
勘違いしてくれるからね

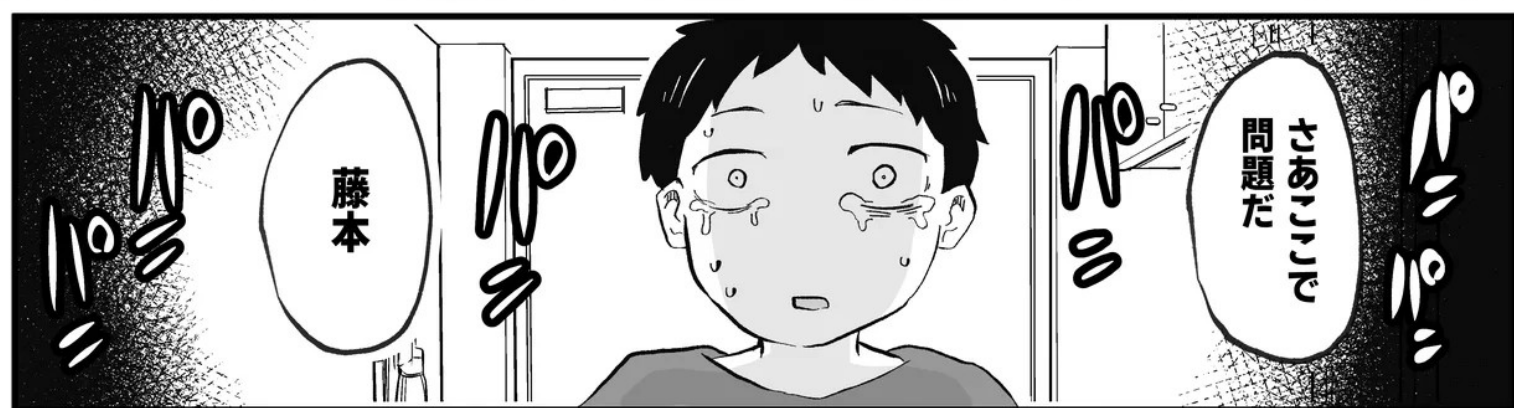
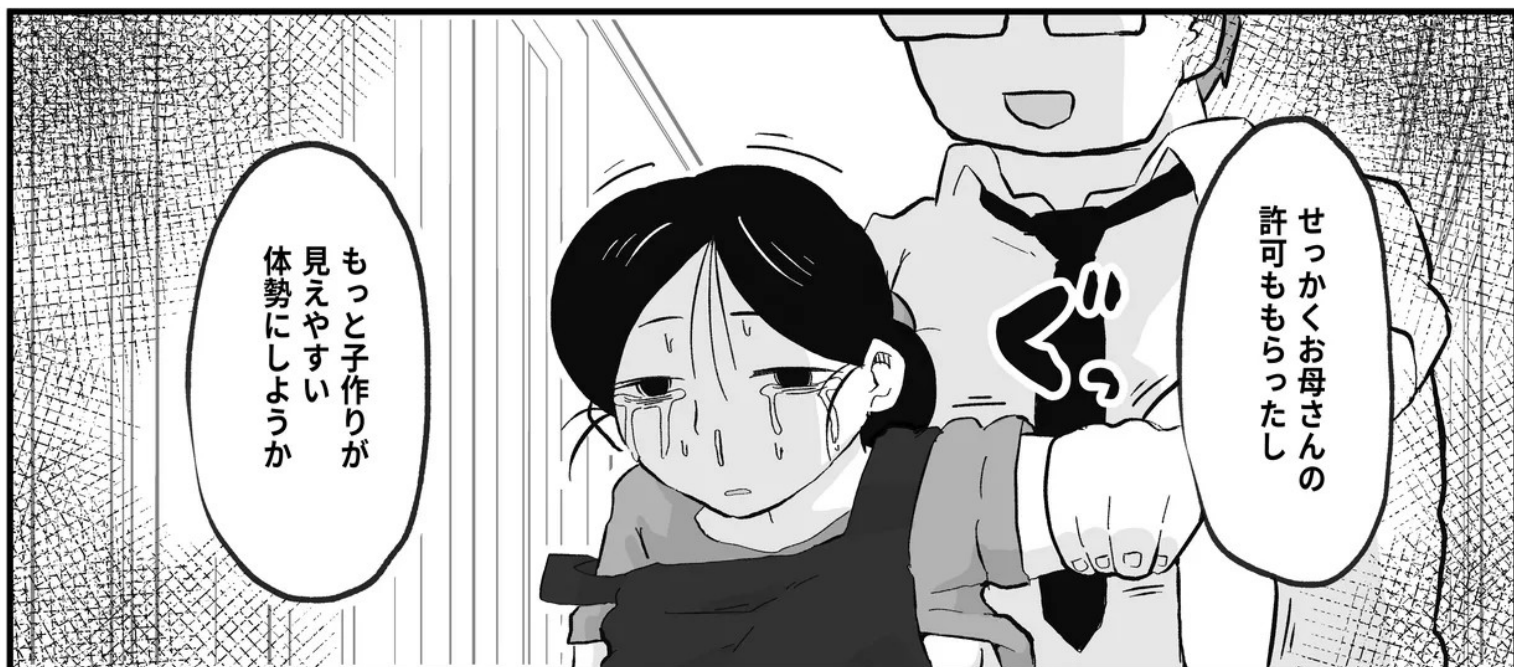


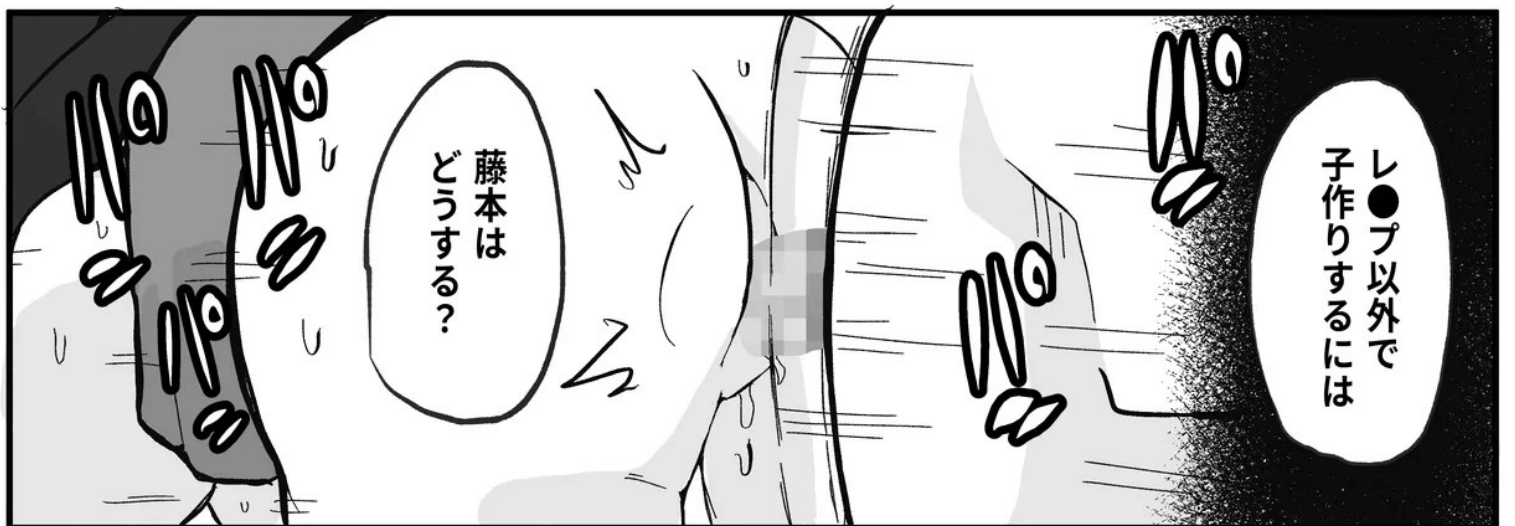
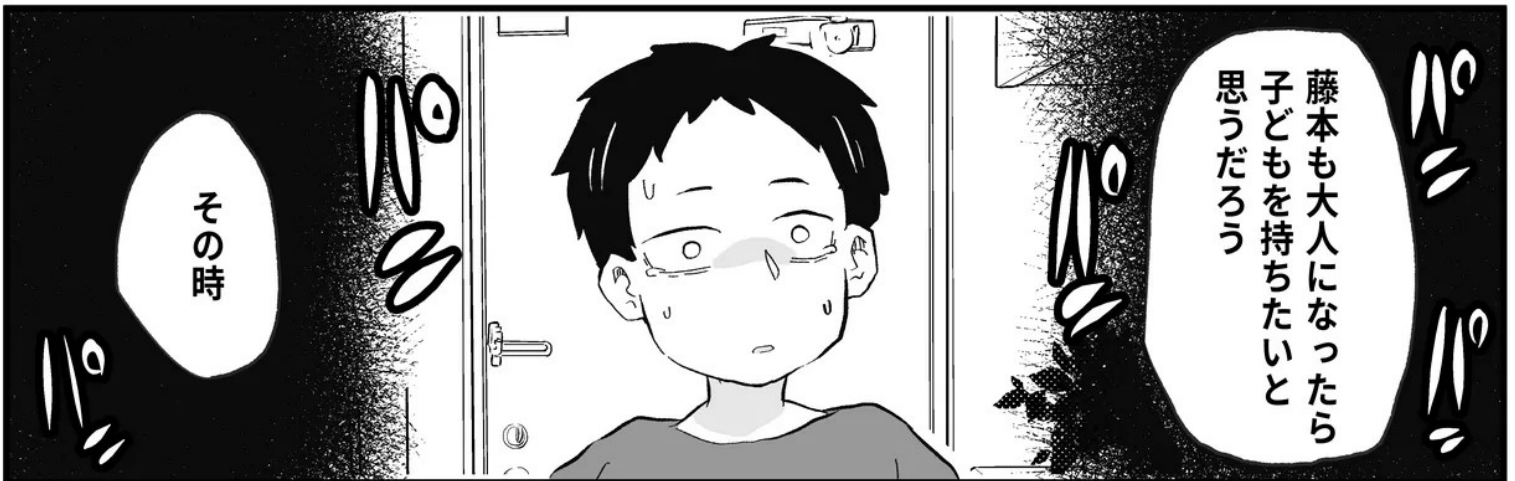


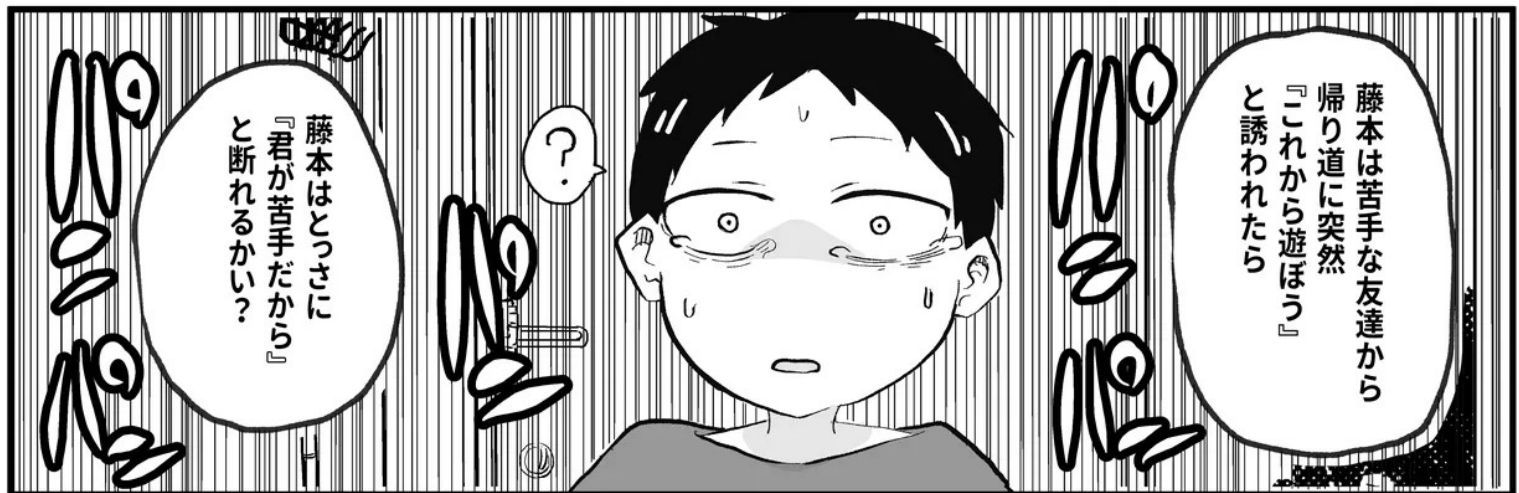














相手が藤本を
傷つけないように
気をつかっていたら？

相手がセックスの
途中でやっぱり
嫌だと感じたら？

相手がセックスを
中断したいと思いながらも
子作り中の脳内ホルモンのせいで
拒否行動ができない状態に
なっていたら？



藤本は相手が
本心では嫌がって
いたとしても
気づけるかい？

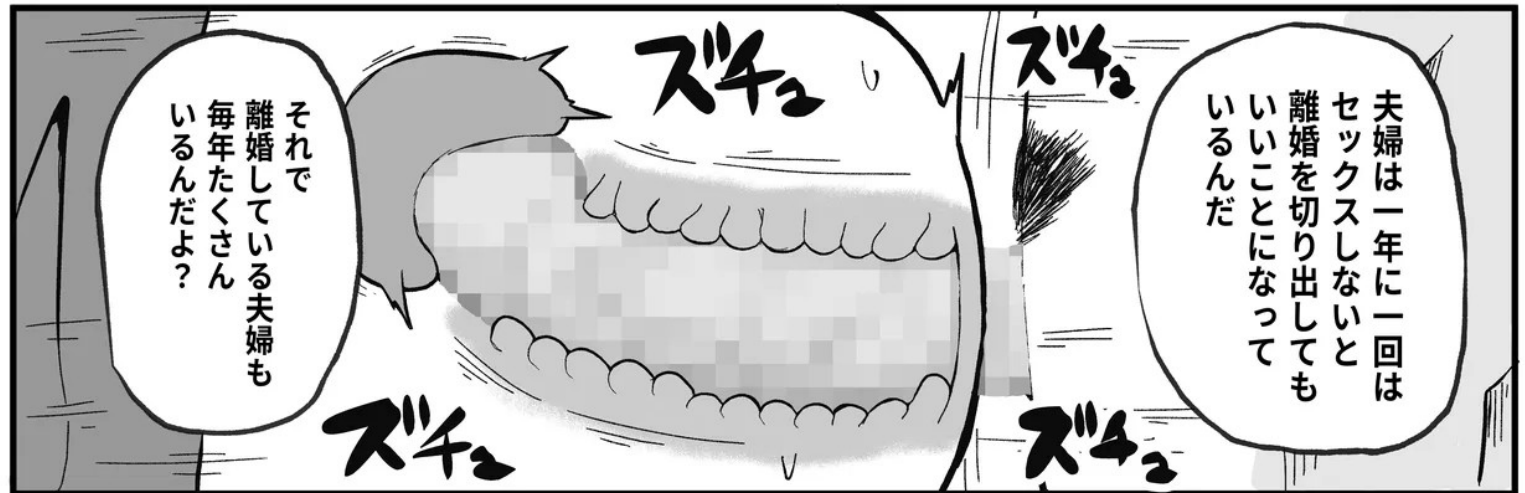
相手のやりたくない
という気持ちに
気づかずに子作りを
済ませられれば
それはレ●プには
ならないのかい？

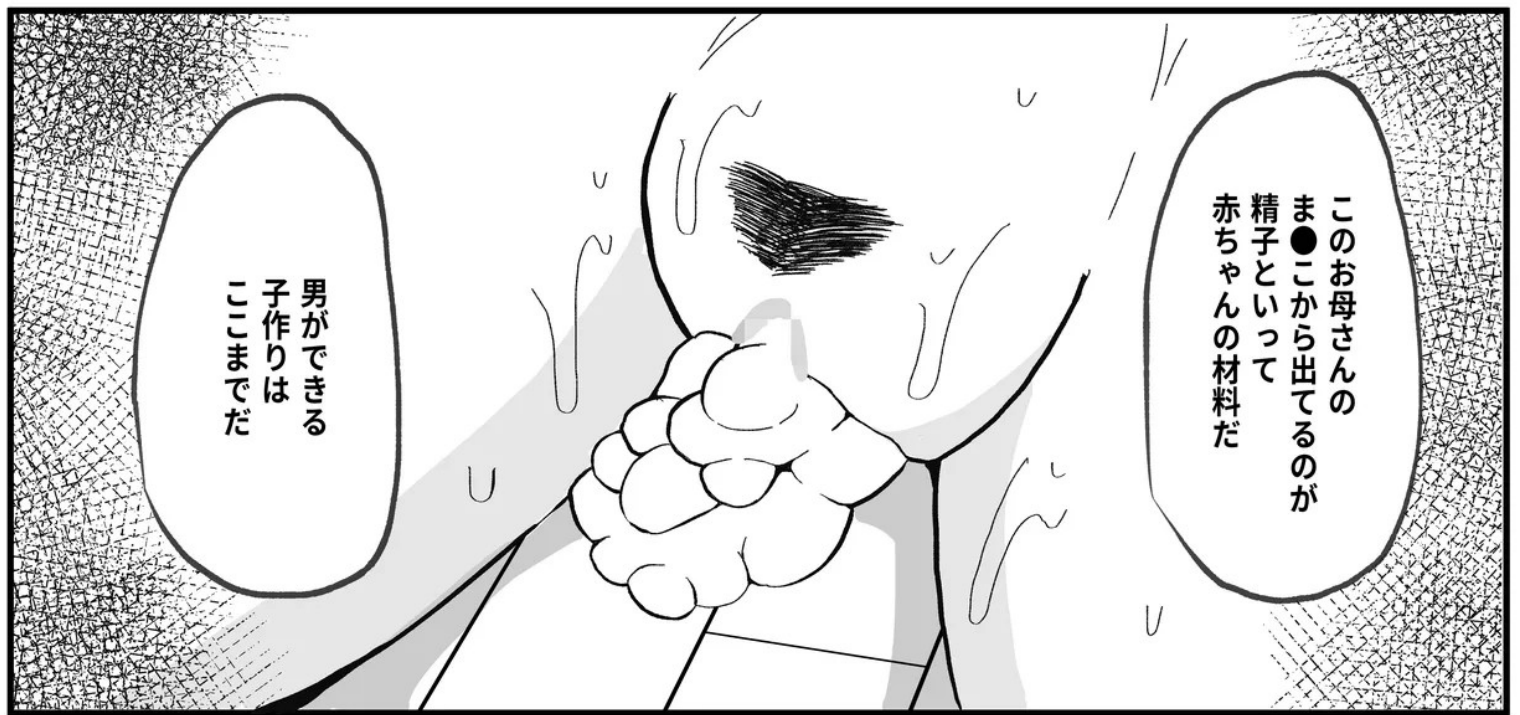


ああもう！
そういう事
じゃないん
だよ！

もっと
簡単な事を
僕は言っ
て
いるんだ！

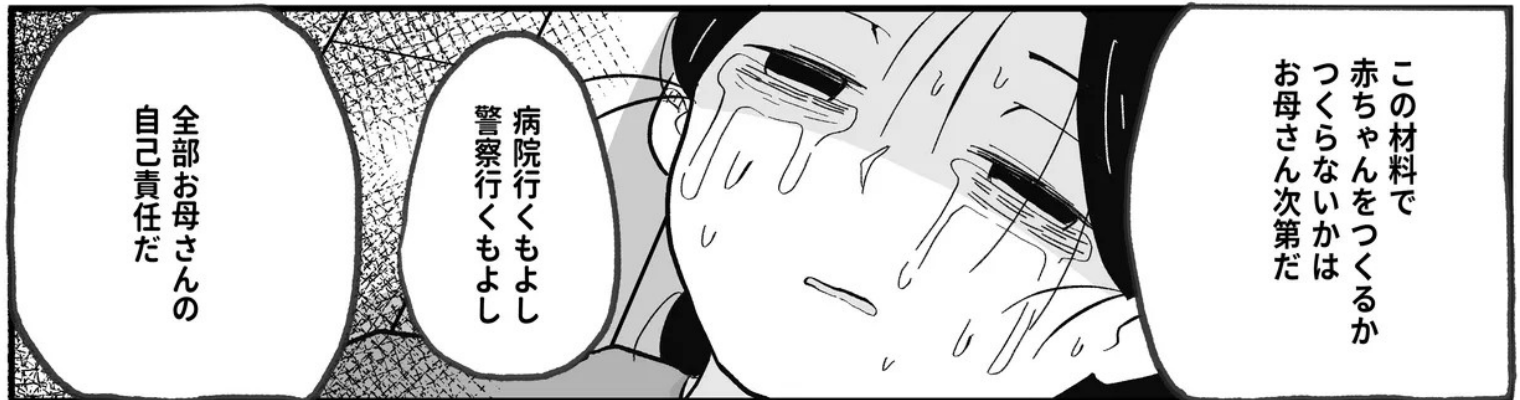






このお母さんの
ま●こから出てるのが
精子といって
赤ちゃんの材料だ

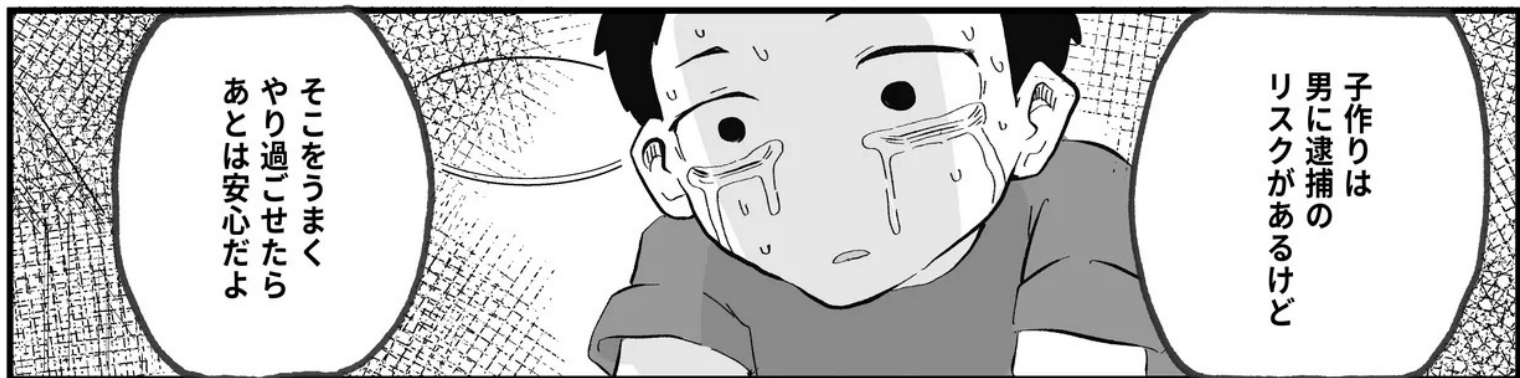
男ができる
子作りは
ここまでだ



この材料で
赤ちゃんをつくるか
つくりたくないかは
お母さん次第だ

病院行くもよし
警察行くもよし

全部お母さんの
自己責任だ



子作りは
男に逮捕の
リスクがあるけど

そこをつまぐ
やり過ごせたら
あとは安心だよ



育児放棄で
逮捕されるのは
ほぼお母さんだけだし

レ●プの場合
養育費を
請求されることも
ごく稀だしね

これが赤ちゃんの
つくり方だよ

藤本

終わり

先生のカガイ授業 ～赤ちゃんの作り方～

漫画:おっと

アシスタント:中広間郷吉